

プリスキラとアキラ：仕事、教え、もてなし

プリスキラとアキラは、パウロとどのように働きましたか。

プリスキラとアキラはパウロと共に働き、アポロを教え、教会の集まりに家を開き、パウロのために命を危険にさらしました。使徒言行録と書簡は複数の町での二人の働きを示しますが、移動のすべてや、その危険の具体的な場面までは説明していません。

コリントで共に働く

使徒言行録は、ポントス出身のユダヤ人アキラと妻プリスキラをコリントで紹介します。二人は、ローマのユダヤ人についてのクラウディウスの命令を受け、イタリアを離れていました。同じ職業だったパウロは、二人のもとに住んで働きます。その仕事場も宣教の物語の一部です。生計を立てる仕事、会話、旅、もてなしは、競合する働きではなく、結び付いたキリスト者の奉仕です。

聖書の参照箇所: 使徒言行録 18章1〜3節

出典: acts

賜物のある教師の成長を助ける

エフェソで二人はアポロの話を聞き、神の道をさらに正確に説明します。使徒言行録は、アポロが雄弁で知識に富みながら、なお教えを必要としていたと描きます。この出来事は、彼を弱点だけで判断することなく、忍耐をもって訂正する姿勢を示します。また、プリスキラとアキラの両方が関わったことも明記されています。ただし、按手礼を描いた箇所でも、後の教会職制の議論をすべて決着させる箇所でもありません。

聖書の参照箇所: 使徒言行録 18章18〜28節

出典: acts

家を開き、命を危険にさらす

パウロは二人をキリストに結ばれた協力者と呼び、命を危険にさらしたことに感謝しますが、その出来事を特定してはいません。ローマの信徒への手紙とコリントの信徒への手紙一は、それぞれの状況で二人の家に集まる教会に言及します。この模範は、家庭を人を迎え育てる場にするよう促します。不確かな旅の

再構成を詳細な伝記に変える必要はありません。

聖書の参照箇所: ローマの信徒への手紙 16章3～5節・コリントの信徒への手紙一 16章19節

出典: letters

出典

- [acts] Acts 7–28; passage references are supplied in each section. <https://ebible.org/web/ACT.htm>
- [letters] Romans through Philemon; passage references are supplied in each section. <https://ebible.org/web/>

独自に制作した本文と画像：CC BY 4.0。聖書本文と第三者の素材は対象外です。

Pauline Letters · CC BY 4.0 · <https://paulineletters.com/ja/explore/resources/priscilla-and-aquila>